



一宮歩こう会 青春の東海道歩き

かわら版 11号

第6ステージは8月21日、関西線加佐登駅から四日市駅まで。本隊は約16キロを歩くが、観光隊は途中鈴鹿市の佐々木信綱記念館から采女一里塚まで約3キロをバスでショートカット。今回のガイド・四日市観光ボランティアガイドの村田三郎さんが加佐登駅まで出迎えてくださる。四日市といえば工業都市のイメージが強いが、旧東海道に多くの史蹟が残っている。これをもれなくガイド(休憩が多すぎて疲れた…の声もあったが)。一緒に歩きながらもガイドにはみなさんびっくり。

ご存知ですか。尾張一宮—四日市は通して買うと950円だが、名古屋で切って買うと750円になる。だから第6ステージのきっぷは、一宮—名古屋、名古屋—四日市、四日市—加佐登、四日市—名古屋、名古屋—一宮の5枚に分ける芸の細かさ。会費は青春18きっぷより安い2000円。

芸の細かさといえば、佐々木記念館から采女間約3キロをバスでショートカットしたが、このバスは三重交通。佐々木記念館を10:42の路線定期バスがあるのだがそれには間に合わない。次は12:42、それは遅すぎ。時間を変えるとバス停乗降の貸切扱いで21000円。暑さ対策もあったが1人500円で乗ることに…好評であった。



⑮日永の追分

東海道と伊勢街道の分岐点となったところ。茶屋や旅籠が並び、間の宿としても栄えた界限。京都へ往来する人はここで伊勢神宮を遥拝した。(県指定文化財・S13.4)



⑯名残松

昔は300本余りも続く松並木だったといわれているが、現在は、街道筋に1本だけ残っている。